

文教大学国際学研究科主催

公開シンポジウム &

神楽上演

(岩手県宮古市・

黒森神楽)

# 「災害復興の国際学」

レジリエンスとつながりの市民力・復興のエンジン

平成30年11月24日(土)

於 神奈川県茅ヶ崎市

世界各地で猛威を振るう自然災害。災害に耐え、しなやかに立ち直る力(レジリエンス)を構築するためには、何が求められるのでしょうか。このグローバルでローカルな課題について、シンポジウム(第1部)と神楽の上演(第2部)を通して、市民社会の視点から考えます。

## ◆第一部：シンポジウム

13:00~15:30 (開場12:30)

於：高砂コミュニティセンター

入場無料、申込み不要

主催：文教大学国際学研究科・茅ヶ崎南地区まちづから協議会

後援：茅ヶ崎市



お車でのご来場はご遠慮下さい。

## ◆第二部：黒森神楽

16:30~20:00 (開場16:00)

於：「茅ヶ崎館」大広間

入場無料、定員60名 <要申込・先着順>

神楽観賞の申込みはメールで受け付けています。①申込者氏名、②連絡先

③参加人数を [kagura@shonan.bunkyo.ac.jp](mailto:kagura@shonan.bunkyo.ac.jp) までお送り下さい。

主催：文教大学国際学研究科 / 後援：茅ヶ崎市 / 協力：茅ヶ崎館



お車でのご来場はご遠慮下さい。

問合せ：0467 (53) 2111 (代) 文教大学国際学部・海津(カヅ)まで

## 第一部：シンポジウム

### 基調講演



#### 室崎益輝

(兵庫県立大学減災復興政策研究科長、神戸大学名誉教授)

日本を代表する防災・復興研究者。

### 話題提供



#### 中川真規子

(NPO法人地球環対話ラボ理事) 「東北とアチェをコミュニティアートと被災地ツーリズムを組み合わせてつなぎ、経験を伝えています。」



#### 早川 輝

(NPO法人みやっこベース事務局長) 「若者が活躍する街を目指し、主体的に社会参画する若者の育成と活動しやすい社会環境の整備を行っています。」



#### 黛 陽子

(文教大学国際学部専任講師) 「バリ島キンタマーニ高原の地震と火山噴火に関する調査を行っています。」

### 司会



#### 井上由佳

(文教大学国際学部准教授) 「ミュージアムと復興をつなぎたいと考えています。」

## 第二部：黒森神楽 (国指定重要無形民俗文化財)

江戸時代初期から旧南部藩に伝わる神楽。三陸沿岸一帯を回る「廻り神楽」として知られる。東日本大震災後、人々の心の復興を支え続けている。

解説：假屋雄一郎 (宮古市市史編さん室)

